



PTA Newsletter

長野市松代町西条 4065 発行責任者 P T A 会長 池田悌智

2025

VOL. 82

7月26日発行

あいさつ

新 P T A 会長 池田悌智



この度、令和7年度松代高等学校 P T A 会長を務めさせていただくこととなりました池田悌智と申します。至らない点が多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、先生方、保護者の皆様、また本会役員の方々のお力をお借りしながら一年間頑張って務めさせていただきたいと思っております。

5月24日のP T A 総会にて本年度の新役員と新年度事業計画や予算案が可決され、本年度の活動がスタート致します。P T A 役員、学級委員を引き受けくださった皆様には心より感謝申し上げます。会員の皆様におかれましては、子どもたちに充実した学校生活を送ってほしいと願われていることと思います。

松代高校 P T A も様々な事業を通して、子どもたち一人ひとりが充実した毎日を過ごせるための手助けとなる活動を目指したいと思っております。

高校ともなると、小中学校の時と異なり、保護者同士のつながりが希薄になったような気がします。P T A 活動を通して、子どもたちの学校での様子などを知る情報交換の場になればと願っております。昨今、コロナ禍を経て、地域活動やP T A 活動も、縮小、簡略化されてきました。「できる人が、できる時に、できる事を」という言葉をよく聞かれるようになりました。この様な補完しあう関係も、多様性を認め合う現代の世相を反映しているのではないかでしょうか。

P T A 活動は、先生方、会員の皆様のご協力があって、初めて円滑に行われるものです。皆様のお力添えを賜りながら子どもたちの成長を見守っていきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

来年度は、創立120周年記念事業が開催されます。同窓会の皆様を中心に、学校、P T A が一丸となって、さまざまな記念事業が滞りなく行えることを願っております。会員の皆様のご協力を、重ねてお願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

退任あいさつ

前 P T A 会長 宮澤洋介



日頃より本校のP T A 活動に対して、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先日、令和7年度松代高校 P T A 総会が開催され、おかげさまをもちましてすべての議案について承認をいただきました。保護者の皆様におかれましては、ご多用のところご出席いただき誠にありがとうございました。併せて新年度P T A 役員体制も決定し、総会日をもって会長を退任いたしました。当初は大役に対しての不安とプレッシャーを感じており、至らない点も多々あったと思いますが、何とかここまで役目を果たすことができ、今は安堵の気持ちでいっぱいです。これも一年間支えて下さった方々のおかげです。協力していただいた保護者の皆様と役員様、ご指導ご鞭撻いただいた先生方、さらには同窓会関係者様を含め地域の皆様、関わって下さった全ての方に心より感謝申し上げます。

令和6年度の活動を振り返ってみると、さまざまな行事や校外活動に参加させていただきました。北信越P T A 連合会長野大会をはじめ、各種研修会、「松濤祭」、総合技術新校設立に向けた懇話会、そして松代高校120周年記念の実行委員会など、数多くの貴重な活動に携わらせていただき、普段では体験できないような事を実際に経験させてもらったことで、自身の見識が広がり大変勉強になった一年でした。その一つひとつの中でさまざまな方々との出会いがあり、私にとって何物にも代えがたい一生の宝物になりました。

さて、P T A 活動も新体制でスタート致します。新会長のもと、保護者の皆様と先生方、子どもたちが三位一体となってより良い学校環境を構築できますようお祈りするとともに、120周年に向けて益々ご活躍されますことを期待しております。

最後になりますが、松代高校の更なるご発展と皆様のご多幸を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

『魔法の言葉』

学校長 阿部栄智



今年度より松代高等学校長を拝命いたしました、阿部栄智と申します。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

新年度が始まり、生徒たちは新たな目標に向かって歩みを進めています。四季折々の豊かな自然に囲まれた松代の地で、若者たちは希望に満ちた未来を描いています。本校はその夢を実現するための場であり、地域社会とともに成長していくことを大切にしています。

今年度も、本校は「地域に根ざした学び」「社会とつながる教育」を大切にしながら、さまざまな取り組みを進めています。授業改革に力を入れ、一方的な知識の伝達ではなく、双方向・多方向の学びを実践しています。生徒たちは主体的に考え、議論し、発信する力を身につけています。

部活動や学校行事も活発に行われており、生徒たちは仲間との協力を通じて、コミュニケーション力や課題解決力を磨いています。さらに、地域の方々との連携活動を通じて、実社会の課題に触れながら学びを深める機会も増やしています。本校が育む「知識を活かす力」が、生徒たちの将来につながることを期待しています。

P T A の皆様には、学校行事の支援や生徒への励ましなど、多岐にわたるご協力をいただいております。こうしたご支援のおかげで、生徒たちは安心して学校生活を送り、自分の夢に向かって努力を続けることができています。本校の教育活動は、家庭・地域・学校が協力し合うことでより良いものになります。そして P T A の皆様の声は、学校運営にとって重要な指針となります。生徒の成長に寄り添いながら、一緒に考え、より良い環境を築くことができればと考えております。

話は変わりますが、私は朝必ず目にする文章があります。ドロシー・ロー・ノルト博士の著書『子どもが育つ魔法の言葉』です。博士は40年以上にわたって、家庭教育や子育てコンサルタントを務めた方で、この著書は37か国語で翻訳されています。以下は著書を一部抜粋したものです。

- ① けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
- ② とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
- ③ 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
- ④ 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
- ⑤ 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
- ⑥ 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
- ⑦ 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- ⑧ 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
- ⑨ 広い心で接すれば、キレる子にはならない
- ⑩ 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- ⑪ 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
- ⑫ 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
- ⑬ 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
- ⑭ 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
- ⑮ 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
- ⑯ 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
- ⑰ やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
- ⑱ 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
- ⑲ 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

いかがでしょうか。生徒たちの高校生活が充実する基盤は家庭にあります。もちろん、学校でも家庭と同じように『魔法の言葉』をかけていきます。どんなに素晴らしい教育内容でも、その中心にいる生徒たちに響かなければ意味がありません。P T A の皆様と学校との連携で培われる環境が、生徒たち一人ひとりを力強く支えることを期待しています。

P T A の皆様、地域の皆様の協力をいただきながら、生徒たちが夢を持ち、それを実現できるよう、教職員一同、一丸となって努力を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



松高生の「わくわく」を地域と共に

教頭 山口雅子



日頃より P T A 活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。今年度、12名の先生方と共に赴任し「チーム松代」の仲間に加えていただきました。

4月の新任式で、生徒のみなさんに「松代高校に入学した時の自分と今の自分を比べた時、あなたは成長できていますか?」という問いかけをしたところ、多くの生徒が笑顔で自分の成長を振り返ってくれました。誰かと何かを比べるのではなく、自分の「好き」や「わくわく」を大切に、昨日の自分より一歩成長した自分で、隣の誰かをちょっとだけ幸せにできる松高 life を送って欲しいと願っています。

また一方で、松高には、みなさんの悩みや失敗と一緒に受け止め伴走してくれる先生たちが勢ぞろいしており、挑戦したいことがあれば十分にサポートできる環境があります。生徒も先生も、そして保護者の皆様も、「困った時こそお互い様」。共に対話を重ね、一人では見いだせなかったことに気づき、何とかしようとと共に試行錯誤しながら、斬新なアイディアと協働を創っていきましょう。そんなチームワークがこの松高には存在すると実感しています。

ここ松代の地は、長い歴史の中で築きあげられてきた魅力溢れるヒト・モノ・コト、地域資源の宝庫です。1年生は、入学して早速、松代文化財ボランティアの会の皆様の案内により「松代ぶら散歩」に出かけました。3年間通学する松代の歴史や文化に触れながら仲間づくりを行い、良いスタートがきれました。2年生は、昨年までの経験を活かし、松代で活躍する方々をお招きし、インタビュー活動を行い「松代人物図鑑」としてまとめていく予定です。松代に根付く「遊學（楽しみながら深く学ぶ）」の理念を具体化したこれらの取り組みは、松高生の主体性と探究心を育んでいます。更に3年生では、政治経済の授業から派生した主権者教育プロジェクトを進め、自ら啓発ポスターつくり、期日前投票場を校内に設置し、「自分事」として地域の方を巻き込みながら社会性を磨いています。商業科では、観光ビジネスの授業で松代泉水路を歩いてその秘密を探ったり、自ら畑を耕し採れた作物や地元企業とコラボして商品開発を行ったり、他校と交流しながら販売活動を行うなど、地域資源を活用した学びの場を広げています。中には、放課後、自主的にボランティア活動をしている生徒もいて、とても頼もしいです。今後は、こうした活動を可視化し、より地域に発信できる取り組みを、生徒と共に工夫していこうと思っています。

また、高校再編計画で新しい高校の在り方が検討されている一方で、今年度から松代地区の小中学校の校種間連携に高校も加えていただき、松代地区全体で子どもたちの学びをつなげていく取り組みも進んでいます。松濤祭では早速、お隣の西条小学校さんの作品展を行いました。小さな交流の場が少しずつ広がっていくことで、生徒たちの学びの質も深化していくものと期待しています。学校だけでは対応しきれない課題も増えてきた昨今、学校は常に形を変えながら地域と共により良い学びの場を模索し続けていく必要があります。保護者の皆様におかれましては、今年度も「松高生のきらり光る姿」に伴走していただき、共に松高生の成長を見守っていただけますよう、よろしくお願ひいたします。



商業科 「松代泉水路探訪」



1年生 「松代ぶら散歩」



2年生 「松代人物図鑑」



3年生 「主権者教育プロジェクト」

PTA活動

5月24日（土）のPTA総会において、すべての議案が承認されました。令和7年度の役員体制も新たに、池田新会長のもと一年間よろしくお願ひいたします。

新役員紹介

令和7年度PTA本会役員名簿

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
参 与	大平 芳春	前 顧 問			学校職員
顧 問	宮澤 洋介	前 会 長	理 事	山岸 勝	事務長・会計担当
〃	阿部 栄智	校 長	〃	飯島 咲季	校内事務局
会 長	池田 悅智	R7年度 3-2	〃	中澤 涼子	校内事務局・3学年主任
副会長	長澤 愛美	R7年度 3-1	〃	飯塚 邦洋	2学年主任
〃	吉池 隆一	R7年度 2-1	〃	油井 翔	1学年主任
〃	山口 雅子	教 頭	〃	大庭 達也	生徒指導係主任
監 事	米山 裕子	R7年度 2-2	〃	坂田 悠子	養護教諭

学級PTA正副会長名簿（◎学年会長、○学年副会長）

クラス	学級会長	学級副会長
1年1組	宮島 彩華	滝沢 千織
2組	◎長島 啓子	齋藤 愛美
3組	○湯本 満幸	西脇 知恵
2年1組	◎萩原 友紀	嶋田みさと
2組	○伊藤 真紀	成澤由美子
3組	丸山 勝美	市川 綾子
3年1組	◎伴野 和恵	吉田智恵子
2組	木内 玲子	小宮山まどか
3組	○湯本 実花	北澤 友紀

生活指導委員会より

例年にならい、大英寺前交通指導を年3回実施します。第1回(5/23金)と第2回(7/11金)を実施しました。交通マナー向上させ、事故が無くなるようサポートしていきたいと思っています。



令和7年度 委員会委員名簿（◎委員長・○副委員長）

委員会（担当職員）	1学年	2学年	3学年	担当
企画	企画(駒津)	宮島 彩華	萩原 友紀	◎吉田智恵子 ○伴野 和恵
文化	文化(藤田)	滝沢 千織	嶋田みさと	
施設	施設(飯島)	湯本 満幸	丸山 勝美	○湯本 実花 ○北澤 友紀
厚生	厚生(坂田)	西脇 知恵	市川 綾子	
生活指導 (大庭)	長島 啓子 齋藤 愛美	伊藤 真紀 成澤由美子	◎木内 玲子 ○小宮山まどか	2組

施設・厚生委員会より

★施設：10/4（土AM）環境整備事業実施の予定です。ご協力よろしくお願いします。

★厚生：10/16（木PM）「保健協議会講演会」があります。多数のご参加をお待ちしています。

企画文化委員会より

7/5（土）松濤祭参観

第63回を迎えた松濤祭を参観しました。全体的にとても活気があり楽しめました。それぞれのクラスで工夫が凝らされており、接客も丁寧で良かったです。小さな子供も興味がわきそうな展示や西条小学校や長野県警、自衛隊の企画もよかったです。しかし、入りづらい場所があったり、逆にいい企画なのに参加者が少なかったり、販売もまだまだ改善の余地があるように感じました。来年の松濤祭も期待しています。

学年だより

「ありがとうと言われ、ありがとうと言う。」 | 学年主任 油井 翔

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度、1学年主任を仰せつかりました社会科の油井と申します。よろしくお願ひ致します。

さて、本学年は4月より3クラス計88名でスタートを切り、約2か月が経過しました（5月末日現在）。期待と不安が入り混じる中、生徒の皆さんのが頑張りや保護者の皆様方に支えていただき、ここまで大きなトラブルなく過ごせていることに感謝申し上げます。

表題にあります学年目標についてですが、全国で“繁栄の法則”を説いておられる陶芸家の北川八郎先生のお言葉をアレンジしたものになります。同先生は「人生の中で大切なのは、一生の間にどれだけの人に『ありがとう』と言われ、『ありがとう』と言ったかです。」と説かれています。今日の変化の速い世の中で、生徒の皆さんには勉強や部活動などに励みながら、複雑怪奇な世の中を生き抜く力、即ち人間力を養って欲しいという願いを込めて学年団で決めた目標となりました。なかなか身近な人ほど言えない「ありがとう」の言葉。恥ずかしがらずに言える、言われるそのような関係性を学年一丸となり築いていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



入学式



着こなしセミナー

「声に出して言いたい日本語～“お”で始まる二つの言葉」 | 2学年主任 飯塚邦洋

保護者の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年度は商業科31名普通科59名計90名でスタートしましたが、進路変更などもあって、73名での2学年のスタートとなりました。

タイトルは4月の学年集会の冒頭で生徒に伝えたことです。困っている人を見かけたら「お互い様ですよ」と言って手を差し伸べ、何かうれしいことがあったら「お蔭さまで」と言えるようになろうということです。いろいろな情報があふれ、競争が激化し、生き馬の目を抜くどころか、出る杭は引っこ抜かれるようなご時世だからこそ、AIの発達により真実の見極めが困難になりつつあるご時世だからこそ、この二つの「お」で始まる言葉が出るようになってほしいと思い、その話をしました。この二つの言葉が自然と出れば平和な世の中に一步近づけるのではないかと思います。

その他に『ファブル』という漫画に出てくる名言の話をしました。それは「経験は思考から生まれ、思考は行動から生まれる」です。ネットで検索をするといろいろと説明をしてくれるので、詳しい解釈はそちらに任せ、この言葉を言ったイギリスの元首相ベンジャミン・ディズレーリの名言をいくつか載せておきたいと思います。

「インタビュー（取材）の方法と記事のまとめ方について」



総合探究 象山地下壕見学



『松代人物図鑑』の準備

○行動は必ずしも幸福をもたらすものではない。しかし、行動のないところに幸福はない。

→行動することの大切さ。

○By failing to prepare, you are preparing to fail. (準備を怠ることは失敗への準備である)



○Hope for the best, but prepare for the worst. (最善を望み、最悪に備えよ)

→「備えあれば憂いなし」です。「備えなくとも憂いなし」とは残念ながらなりませんね。

共通するのは、「経験は思考から生まれ、思考は行動から生まれる」という点だと思います。本年度もよろしくお願ひいたします。

「離陸前の準備」 3学年主任 中澤涼子

少々関係のない話から入りますが、私たちが乗るさまざまな乗り物は、安全・安心のために、チェックが行われているのは皆さんもご存じかと思います。バスや電車、普段の乗っている自家用車、そして飛行機。飛行機の離陸前のチェックは一人では行いません。複数の目で、チェックリストを見ながら行われます。そして準備万全、出発するのです。

これから始まるそれぞれの進路実現に向けて、保護者の皆さんにも、ぜひこの複数の目の一つになっていただきたいと、心より願います。もちろん、担任・副担任・進路係・教科担当・部活顧問、いろいろな立場の教員が関わりながら進路実現に向かっていきますが、一番の良き理解者は保護者の皆さんであって欲しいと思います。たくさん話をしてください。一緒に考えてください。そして胸を張って送り出してあげてください。高校を選んだときとは比べものにならないくらい、この先の期待も大きい分、不安も大きいと思います。お子さんが無事離陸できるよう、ともにチェックしていただければ、私たちにとってもこんなに心強いことはありません。

そして、昨年に引き続き、この学年で大切にしたい6か条。

- ①あいさつをする
- ②時間を守る
- ③整理整頓・掃除をする
- ④授業を大事にする
- ⑤自分を大切にする
- ⑥相手を理解し尊重する。

すべて「凡事」です。厳しい社会の中で信頼される一番の近道「凡事徹底」。当たり前のことが当たり前にできることを意味します。今年も、同じ目標を掲げていきたいと思います。



企業・上級学校の各種説明会、進路行事への参加

進路指導室より

進路指導主事 宮島秀紀

保護者の皆さんには、日頃より本校の進路指導にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度より進路指導主事となりました。昨年度まで、この春に卒業した学年の学年主任をしておりました。

さて、昨年度卒業生の進路状況は、大学 12 名 (13.2%) 、短大 4 名 (4.5%) 、専門学校 40 名 (43.9%) 、就職 31 名 (34.1%) 、公務員 2 名 (2.2%) 、その他 2 名 (2.2%) でした。一昨年度より全体的に大学・短大・専門学校への進学率が減り、代わりに就職を希望する生徒が増加しました。



昨年度の3年生の中には夏まで進学か就職か最後まで悩み、最終的には就職の道を選択した生徒も複数いました。

就職に関しては、5月2日の長野労働局の発表によると、今春卒業した県内高校生の求人倍率は3.12倍（3月末時点）で、前年同期を0.21倍下回ったものの、人手不足などを背景に高水準を維持しています。産業・職業別にばらつきはありますが、求職者数は前年同期に比べ、4.2%増加し、就職内定率は99.0%でした。このように、企業の新規学卒者に対する採用意欲は年々高まっているものの、求人側のニーズと生徒の就職希望状況とのミスマッチから新規学校卒業者が入社

後に短期間で離職してしまう事例も散見されており、定着が大きな課題となっています。生徒たちは、どういう仕事を希望するか、どういう働き方をするかよく検討して選んでほしいと思います。人手不足もあり就職しやすい状況ではありますが、採用選考に関しては誰でも内定が出るわけではなく、企業側の求める基準を満たしていないと不採用になります。筆記試験や適性検査、複数回の面接などにより総合的に判断されますので、しっかりと準備することが大事です。毎年3年の夏以降に進学から就職に変更する生徒が何人かいます。その場合、応募企業の選択や試験対策がどうしても十分に対応できず、内定をいたたくまで苦労することがあります。進学か就職かの選択は将来を左右する大きなことです。どうぞ、早い時期から進路について考えてください。

続いて、進学についてですが、「手に職をつける」や「やりたいことをやる」ために専門学校へ進学する生徒が多くいます。このように目的を持って進学する一方で、入学後、自分に向いていないということで退学してしまうこともあります。職業や自分の適性などもしっかり考え、進学先を決めるのも大切です。入試方法としては、学校推薦型選抜の指定校推薦や公募制推薦、総合型選抜、AO入試での合格が多数を占め、年内にほぼ進路先が決定します。これらの選抜では、活動報告書や志望理由書の提出の他に、面接や小論文、プレゼンテーション、口頭試問などが課されることがありますので早めの準備が必要です。3年間の高校生活で、何に力を入れ、そこで何を考え、どう成長できたかを具体的に語ることができると、提出書類や面接での説得力が増します。日々を大事に過ごしてほしいです。

社会情勢の変化が激しい中、県内の大学・短大も変化を余儀なくされています。一昨年の飯田短期大学、昨年の長野女子短期大学が長野短期大学に校名変更し、男女共学になりました。上田女子短期大学も今年4月より男女共学になり、上田短期大学と校名変更しました。清泉女学院大学・清泉女学院短期大学が、全学科で男女共学化されたことに伴い、今年4月、清泉大学に校名変更し、学部の変更等がされました（清泉女学院短期大学は清泉大学短期大学部に変更）。

このように県内の大学・短期大学の環境が大きく変わってきています。進路指導係としても細やかな情報発信をしていきたいと思います。1年次より「自分を知る（長所・短所、得意・不得意なこと、興味のあること、やりたいことなどあげる）」→「進路先を知る（インターンシップ・オープンキャンパスに参加する）」→「言語化する（今考えている進路について他人に話してみる。あるいは文章にしてみる）」ということをしようと指導しております。大学進学から就職まで進路希望は多様化していますが、生徒一人ひとりの進路が実現できるよう、進路指導係はじめ職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

主な進学先	県内の主な就職先
清泉大学 長野保健医療大学 松本大学	長野都市ガス 新光電気工業 竹内製作所
新潟経営大学 金沢工業大学 多摩大学	長野電子工業 みすゞコーポレーション
静岡理工科大学 駿河台大学 千葉商科大学	ミヤリサン製薬 寿製薬 前田製作所
松本大学松商短期大学部 長野短期大学	アピックヤマ JRCロジスティクスサービス
上田短期大学埼玉女子短期大学	長野ナブコ エムケー精工 オカムラ
上田情報ビジネス カレッジオブキャリア	アスザックフーズ 鹿熊組 岩野商会
佐久総合病院看護 長野社会ふくし	ヤマト運輸 アトリオン製薬 ホットマン
長野看護 信州スポーツ医療福祉	イエローハット ながの東急百貨店
岡学園トータルデザイニアカデミー	大本願ユートピアわかほ
長野医療衛生 長野調理製菓 長野理美容	日本郵便
松本調理師製菓師 松本理容美容	長野県警察 長野市消防
大原学園 長野ビジネス外語	(株式会社等の名称は省略)
信州松本動物専門学校	
(専門学校は県内のみ掲載)	

生徒指導係より

生徒指導主事 大庭達也

保護者の皆さんには、日頃より本校の教育活動に対しまして深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。新年度が始まり、早くも数か月が過ぎました。子どもたちは新たな学年やクラスの中で、それぞれの目標に向かって努力しながら、日々の学校生活を送っております。学校全体としても、生徒一人ひとりが安全で安心できる環境の中で、充実した毎日を過ごせるよう、生徒指導に力を入れて取り組んでおります。

6月13日にPTA生活指導委員会主催のSNS講演会を開催させていただきました。NPO法人「子どもとメディア信州」から宮原明人さんを招聘し、「SNSの正しい利用方法」をテーマにお話していただきました。講演会の一部をここで紹介させていただきます。

全校生徒への事前のアンケートでは、SNS疲れを感じている生徒が増えています。具体的には、「即レス」（すぐにレスポンスをする意味）ができない時に不安になったり、賛成できない悪口への返事に困ったりしている生徒が多いようです。またスマホなどの使用状況では、使用時間が5、6時間を超える生徒と自ら制限している生徒の二極化が見られ、深夜12時まで使用する生徒が多いという結果でした。経験したことのあるトラブルでは、アカウントの乗っ取り被害やネット上で知り合った人と会うなどがありました。この現状から注意するポイントとして、「立ち止まって考えること」があげられていました。投稿をする際には、感情に任せのではなく、周囲への影響（自分や周り、知らない誰かを不幸にしないか）と法律や倫理的に問題がないかを考えることが重要だとお話をありました。立ち止まるために、気持ちが高ぶっていたら深呼吸を6回すること、周りの人の協力を得て止めてもらうことなどが有効であると教えていただきました。1回の軽い気持ちの投稿が炎上し、人生を大きく狂わせてしまうケースも珍しくありません。立ち止まり、今後起こるかもしれない事に責任を取れるかを考えるようにしてください。法律の面では、侮辱や名誉毀損について、批判との具体的な違いを交えながら教えていただきました。また、2023年に制定された撮影罪についても、身近な落とし穴としてお話をいただきました。盗撮はもちろんですが、許可を得ていない人の写真を勝手にSNSへ投稿することも注意をしてください。友人間でのLINE等のやり取りの中でも注意が必要です。講演の中では、文字だけのやり取りから得られる情報は、ごくわずかで誤解や勘違いが起こるリスクが高いというお話をありました。実際に、文字だけのやり取りで人間関係トラブルになるケースは本校でも多いです。大切な話は直接伝えることを意識して欲しいと思います。講演全体を通して、生徒だけではなく大人にとっても参考になる内容でした。この内容を、ご家庭でお子さんと共有していただき、正しいSNSの使い方について一緒にお話をいただければ幸いです。

本年度は7月28日より夏期休業が始まります。夏期休業は時間に余裕ができ、生活が不規則になりますがちで、気持ちが緩みやすい時期でもあります。松代高校生として自覚を持った行動を心掛け、問題を起こして深刻な事態にならないよう、十分気をつけて欲しいと思います。具体的には次の事に気を付けるようにしてください。

- ① 交通事故
- ② 無断アルバイト（通年許可または長期休業中許可が必要）。
- ③ 23時以降外出しない（県条例で決められています。
ご家庭でも指導をお願いします）。
- ④ 頭髪の加工・ピアス・エクステ・カラーコンタクトレンズをしない
- ⑤ 飲酒・喫煙、その他問題行動をしない（飲酒・喫煙は同席でも指導の対象となります）。
- ⑥ バイク免許取得・バイクの乗りまわしをしない
(無免許運転・二人乗り等も同様)。
- ⑦ 交友関係トラブル（犯罪に巻き込まれない様に注意してください）。

なお、問題行動が発覚した場合、事実を確認する為に夏期休業中であっても登校し、指導を受けてもらうこともあります。

ご家庭で、何か気になること等がございましたら、お手数ですが学校までご相談ください。皆様のお力になれるよう力を尽くしてまいります。



1学年 交通安全教室



1学年 SST

(ソーシャルスキルトレーニング)研修

教育支援・地域連携の紹介

○松代高校では、生徒の学習や健康をはじめ、教職員のスキルアップに関する様々な支援の体制づくりをしています。また、地域の方々との共同作業も順次計画中です。この度、開設される「地域連携室」とその支援を担当するコーディネーターの皆さんを紹介します。

地域連携コーディネーター

つなぐ
学校・地域住民・PTA・企業・NPO・自治体など多様な関係者をつなぎ情報を共有・調整します。

企画・運営する
放課後の学習支援、地域イベント、学びの場づくりなど、地域と連携した教育活動を企画・実行します。

情報発信する
地域の人と生徒・先生などに情報発信をします。

調査する
地域の団体と情報交換し地域の実情や課題を把握、学校運営に必要な助言や事例提供をします。

地域連携室

生徒や先生方がランチミーティング、土日に地域の人を招いたイベント、交流ができる誰かがいる農場所としてコーディネーターがいる日は開放されています！

コーディネーターの皆さん

ゆみさん

名前 いまい ゆみ
今井 有見

出身地 長野県長野市

略歴 学生時代は地域デザインを学び、裏路地MAPを制作した
アパレル生産管理→ボランティアコーディネーター→webデザイナー
現在：子育てサークル運営、白鳥園ひろばの企画運営スタッフ（毎月第2土曜日）

しおりさん

名前 ますだ しおり
増田 汐里

出身地 長野県長野市

略歴 学生時代は、まちづくりデザインを学ぶ
認定NPO法人長野県NPOセンター（市民協働サポートセンター）、ながの若者スクエア（ふらっと）勤務。まるごとキャンバスなどを担当しています！

わださん

名前 わだ くにひこ
和田 邦彦

出身地 長野県長野市

略歴 建材卸売会社→長野県高等学校教諭として41年間勤務（うち松高勤務3回：通算21年間）
退職後
・某県立高校非常勤講師
・某専門学校非常勤講師＆スパーバイザー
・某運輸会社アドバイザー
・某教科書出版社 編集協力者→8年業務中

この度
商業実習室
から

地域連携室へ
準備をしています

「こんなことができたら嬉しい！」
「こういう使い方をするといいんじゃないかな？」など
ご意見やご提案をお聞かせください
見に来ていただけると嬉しいです！
また、地域との繋がりが深くなる
総探のサポートもしているのでぜひ生徒と一緒に！

現在、商業実習室はクーラーがないため
下記日程は第三講義室でお待ちしております

日程 7/17(木)12:00～14:00
7/18(金)12:00～14:00 冷たい飲み物をご用意しています♪

生徒の学びの支援や教職員の研修はもちろん、P T Aの皆様や地域の方々にも利用可能です。地域連携室を利用して、ますます松代高校と松代の地域を盛り上げていきましょう。

●様々な立場で支援していただいている皆さんがあります。簡単な自己紹介をお願いしました。

名前：小木曾 信仁

出身地：長野県 飯島町

略歴：大学卒業後、長野県内のIT企業に就職して、プログラマやシステムエンジニアとして従事。その後、出版社や別のIT企業などで営業職などに従事した後に個人事業主として独立。現在は、専門学校の外部講師、小中学生向けのプログラミング教室などを主宰。松代高校では、教員業務支援員として校内のIT系を支援中。

好きな、得意なもの・コト：外出や体を動かすこと。時間があれば目的もなく自転車に乗って街の様子を観察したり、季節の移ろいを感じることが好き。夏は、プールでウォーキング、冬はスキーなど体を動かすことも。信州プレイブウォリアーズのボランティアにも参加しており、試合運営のサポートをしています。

名前：佐藤 祐三

7月から進路支援員としてお世話になっています、佐藤です。

本年3月まで教員として勤め退職いたしました。4月からの3か月間は田んぼや畠仕事に精を出し、長年の勤めからかあちこちに傷みが出た体を治す為の病院通いと体力づくりにサンマリン長野での水遊びに興じていました。

5年前まで松代高校に10年間務めており、とても懐かしく感じています。進路支援員として少しでも生徒の皆さんや先生方のお役に立てればと思い新たな気持ちで臨んでいます。毎週月・木曜日の2日ですが精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

スクールライフ

《 春～夏の記録 》 勉強に、クラブに、行事に……頑張っています！



新入生歓迎会



生徒総会



壮行会



1年生 SST



開校記念講演



3年選択授業保育講座
駄菓子屋らそさん訪問



3年選択授業保育講座
真田紐作り



読書週間



芸術鑑賞で共演



県立図書館見学



あんずプロジェクト



春季クラスマッチ
全校で準備体操



クラスマッチ
男子バレーボール



クラスマッチ
女子バレーボール



3年 進路行事



松濤祭 只今準備中



松濤祭 校内祭
全校レク



松濤祭 先生も一緒に
クラス発表



松濤祭 一般公開



松濤祭 商業部
共同開発商品を販売



1年 松代ぶら散歩
発表



2年 松代人物図鑑
制作中

主権者教育プロジェクト
国政選挙に1票

《 部活動の記録 》

<p>バスケットボール </p> <p>北信総体</p> <p>男子 1回戦 松代 39 — 96 中野西 女子 1回戦 更級農業・松代・屋代南 39 — 135 市立長野</p> <p>バレーボール </p> <p>北信総体</p> <p>男子 1回戦 松代・長野西 0 — 2 長野東 女子 1回戦 松代 0 — 2 長野日大高校</p> <p>サッカー </p> <p>北信総体 1回戦 松代 1 — 5 長野工業</p> <p>バドミントン </p> <p>北信総体</p> <p>男子団体 1回戦 松代 0 — 3 長野南 男子ダブルス 1回戦 杉田夢和途・西岡悠人ペア 0—2 中野西 山岸裕弥・渡辺夢和ペア 0—2 長野吉田 男子シングルス 1回戦 杉田夢和途 0—2 屋代南 西岡悠人 0—2 市立長野 窪田暁斗 0—2 須坂 渡辺夢和 0—2 長野商業</p> <p>陸上競技 </p> <p>北信総体</p> <p>男子個人 大堀 七紫 ハンマー投 33m08 3位 原山 陽向 1500m 5:15.43 成沢 尚希 1500m 4:23.51 7位 女子個人 酒井 愛生 走高跳 1m35 7位</p> <p>県総体</p> <p>男子個人 大堀 七紫 ハンマー投 30m49 10位 成沢 尚希 1500m 4:22.1</p>	<p>硬式野球</p> <p>春季北信越大会長野県東信大会 東北信連合 7 — 16 上田東 全国高等学校選手権長野大会 東北信連合 3 — 6 松本蟻ヶ崎</p> <p>弓道 </p> <p>北信総体</p> <p>女子団体 40射 18中 3位 女子個人 横川ひなの 8射 6中 5位</p> <p>県総体</p> <p>女子団体 40射 12中 予選敗退 女子個人 横川ひなの 7位 (サドンデス残れず)</p> <p>剣道 </p> <p>北信総体</p> <p>男子団体 7位</p> <p>県総体</p> <p>男子団体 リーグ戦敗退</p> <p>柔道 </p> <p>北信総体</p> <p>男子団体 7位 男子個人 60kg級 市川智也 3位、 村本彰吾、米澤慎治 1回戦敗退 100kg級 曽根翔富 1位 女子個人 57kg級 小岩紗季 2位</p> <p>県総体</p> <p>男子団体 予選敗退 男子個人 60kg級 市川智也ベスト16、 村本彰吾、米澤慎治 1回戦敗退 100kg級 曽根翔富ベスト8 女子個人 57kg級 小岩紗季 1回戦敗退</p> <p>北信越総体 男子個人 100kg級 曽根翔富 1回戦敗退</p>
<p>ミュージック</p> <p>長野県高等学校軽音楽系クラブ合同演奏会 東北信大会 Power Live 2025 TH 出場</p> <p>茶道 </p> <p>PTA 理事会後のお点前披露、 参議院選挙期日前投票所に来ていただいた方 へのお点前披露</p>	<p>吹奏楽</p> <p>文化祭演奏 </p> <p>商業</p> <p>商業総合競技大会 5位 販売活動 松代お花まつり、 菅平かントリーフェスティバル出店</p> <p>美術 </p> <p>更埴地区高等学校美術展 3年生2名、1年生4名が出品</p>

新任職員の紹介

令和7年度に新しく着任した先生たちです。よろしくお願いします。

教科等	氏名	所属学年	前任校等	教科等	氏名	所属学年	前任校等
学校長	阿部 栄智		松代	保健体育科	松本 弘夢	2-3副担	茅野
教頭	山口 雅子		篠ノ井	英語科	大屋 愛莉	1-3副担	新規採用
国語科	藤田 咲子	1学年付	長野西	英語科	番場 利秀	1-2副担	長野商業
数学科	松崎 信夫	3学年付	屋代南	養護	坂田 悠子		蘇南
理科	伊東 隆則	3-3副担	長野南	行政	上村 安則		長野商業
理科	駒津 憲雄	2学年付	中野西	行政	宮入 彰江		新規採用

新任職員よりひと言

☆ 英語科 番場 利秀

長野商業高校の定時制から参りました。過去に勤務した須坂、篠ノ井では素人でありながら剣道部の顧問をしていましたので、北信大会で何度も体育館へは来ておりました。今年からは職員の一人として授業、校務の遂行に努めさせていただきます。

☆ 英語科 大屋 愛莉

春から新しく採用されました大屋愛莉(おおやあいり)と申します。教科は英語、部活はバドミントン部の顧問をさせていただいております。若輩者ですが、精一杯頑張りたいと思います！よろしくお願いします。

☆ 国語科 藤田 咲子

前任の長野西高校から本校の体育館の屋根を見ていましたが、思っていた以上に校地が広くて、毎日が探検をしているようです。生徒たちと元気に頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

☆ 体育科 松本 弘夢

茅野高校から異動してきました松本弘夢（まつもとひろむ）と申します。教科は保健体育、専門種目は野球です。部活動から松代高校を盛り上げていけるように力を尽くしてまいります。よろしくお願ひします。

☆ 理科 駒津 憲雄

中野西高校から参りました。週2日半の勤務ということもあって、本校の環境に慣れるには、まだまだ時間がかかりそうです。年齢に負けないように頑張りたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。

☆ 理科 伊東 隆則

4月の人事異動で、長野南高校から来ました伊東です。生物教室で授業をした時に見えた飯縄山やその奥に高妻山がくっきりと見えることに素晴らしい景色を感じました。毎日見る風景も、ほんの少し経度30秒ほど増やしただけで、こうも見られる景色が違うものかと日々きょろきょろしながら通っています。いろいろなことを理解吸収するのに時間がかかるロートルですがよろしくお願ひします。

☆ 数学科 松崎 信夫

5年ぶりに松代高校に戻ってきました。懐かしさを感じつつ新しい部分に戸惑いながら過ごしています。早寝早起きモットーとしています。よろしくお願ひします。

☆ 養護 坂田 悠子

蘇南高校から異動してきました養護教諭の坂田悠子（さかたゆうこ）です。前任校と、景色も校舎も全てが違い、毎日新鮮で新しい発見にワクワクしています。生徒一人ひとりがのびのびと、心も体も元気に過ごせるように保健室からサポートをしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

☆ 事務室 上村 安則

長野商業高校から来ました、上村安則（かみむら やすのり）と申します。生徒さんをはじめ関係者の皆様の「ロジ担」として、事務室から後方支援をいたします。よろしくお願ひします。

編集後記 装いも新たになったPTA会報82号はいかがだったでしょうか。PTA活動のことや生徒の活動を含めた松高のことを、次号でさらに広くお知らせしたいと考えております。会員の皆様からの情報も盛り込みたいと思いますので、お子様を通じて「記事」をお寄せいただければ幸いです。（企画文化委員会）